

宗祖御遠忌記念事業完了報告



【本堂内陣修復・巻障子／須弥壇宮殿／床板】見違えるほど美しく修復がなされました。主な修復内容として、中尊前須弥壇宮殿、宗祖厨子、卓、金紙張替、框漆塗り及び金具類、巻障子、本間床板の新調などが実施されました。なお、嘉念坊上人厨子については、明年の上人祥月命日の3月3日までに御修復が完了します。



【左上・参詣席／耐震補強壁】畳が新調され、照明はすべてLEDに変更されました。また、最新の音響システムを導入したことにより、お勤めや法話が聞き取りやすくなりました。耐震補強壁については、本堂内は合計8カ所に設置され、阪神淡路大震災程度の地震でも倒壊しないレベルの耐震性を確保しました。また、室内温度の安定化がはかられ暑さ寒さ対策にもなりました。【中央上・本堂回廊】回廊をバリアフリー化し下足箱を設置しました。回廊が広々となりました。【右上・渡り廊下】サッシ交換、カーペット交換、壁塗装もされ照明もLEDに交換されました。



【左上・御坊会館玄関】これまでの玄関は、洗面所や物置スペースにもなっておりとても手狭でしたが、それらを撤去し、玄関として広く使用できるようになりました。【中央上・御坊会館トイレ】御坊会館のトイレが新しくなりました。男女別となり数も増やし、階段や通路の整備も行われ、2階本堂や外からでも使用できるようになりました。【右上・パブリックスペース】観光客の休憩所及び情報提供場所として、御坊会館ポーチにウッドデッキ調のパブリックスペースを設置しました。



【左上・1階北側廊下】全面フローリング化し、特に東側については、物品管理がしやすいように倉庫入り口や物置棚の整備も行いました。【中央上・講師用トイレ】北側に、講師専用トイレを新設しました。【右上・高廊下玄関】老朽化が著しかった玄関を、来賓対応などに配慮し整備しました。

一本堂御修復追加工事について

9月13日、御遠忌推進委員会統括本部会議及び記念事業部会において、工事完了を前に実施しておくことが必要かつ合理的と認められる工事について、追加の承認がなされ、これらについても実施されました。

主な工事内容については、花部屋外部壁の塗装や渡り廊下玄関ポーチ仕上げ工事などがあり、玄関工事については、当初はモルタルの施工を予定しておりましたが、来客等をお迎えする玄関であることから意匠に配慮し、石を敷くなどの仕上げをしたことにより追加経費が発生したものです。

＜追加工事項目＞

本堂外陣非常照明取替・花方外部階段手摺取り付け・1階トイレ室外案内看板設置・花部屋外部壁の塗装・講師室及び列座室他床修復・階段下物置建具新設・畳仕様変更・庫裡御殿置下床補強・本堂2階南外灯追加・本堂2階仏具収納棚仕様変更・渡り廊下玄関ポーチ仕上げ工事・本堂階段カーペットシート（2カ所）交換・本堂正面階段縁板塗装工事・本堂和室及び後堂建具補修

高山別院 御本尊還座式

別院本堂の御修復が完了となり、御本尊が本堂に還座されます。
有縁の方々にご参列いただきたく御案内申し上げます。

日時 2018年11月1日(木) 午前10時から

御遠忌讃仰 第37回真宗公開講座—親鸞聖人に会う

明年5月の宗祖御遠忌法要に向け、「御遠忌讃仰 第37回真宗公開講座」が「親鸞聖人に会う」をテーマに4回にわたって開催されます。お誘いあわせてご参加ください。

なお、今年度は御遠忌讃仰事業としての開催となり、聴講料は無料となります。

- 1回目** 期日：11月2日（金）午後6時～（『御伝鈔』後）
講師：柳野明仁氏（岡崎教区本澄寺・三河スーパ絵解き座座長）
内容：絵解きで語る『親鸞聖人御絵伝』の世界
- 2回目** 期日：2019年2月18日（月） 午後2時～
講師：酒井義一氏（東京教区存明寺）講題：海が聞こえる
- 3回目** 期日：2019年4月12日（金） 午後7時～
講師：藤場芳子氏（金沢教区常護寺）講題：女と男のナムアミダブツ
- 4回目** 期日：2019年5月10日 『御伝鈔』後
講師：やなせな氏（本願寺派・シンガーソングライター）

※会場は全て高山別院本堂です。



【御遠忌に向けてダイジェスト】

- ◆ 御遠忌志完納寺院へ、感謝状及び記念品の『正信偈同朋唱和集』（和綴版）を順次お渡ししています。
- ◆ 別院報恩講での帰敬式受式者は約100名。10月17日と19日に事前研修会を開催。
- ◆ 清見組お待ち受け法要、10月14日（日）清見町の了徳寺において開催。約150人が参加。同朋唱和の後、記念公演（講師：高山一組真蓮寺住職三島大蓮氏、講題：「中村久子の世界 一念佛を生きる力にしてー」）。
- ◆ 御遠忌庭儀稚児募集。申し込み受け付けは11月12日から。教務所へ直接申込。定員は150人。
- ◆ 大谷大学博物館、「飛驒真宗の伝流」を開催、11月28日まで。嘉念坊上人の足跡を紹介。

御遠忌・御修復懇志金収納状況のお知らせと御礼

10月25日現在における御遠忌の懇志金収納状況について、次のとおり御進納いただいておりますことを報告いたします。尊い御懇念をお寄せいただきましたこと厚く御礼を申し上げますとともに、今後ともご協力いただきますようよろしくお願いします。

収納総額 403,141,121円（御進納率90.1%）

【内訳】御遠忌御修復懇志金	357,304,455円（4億円）	（ ）	予算額
住職寺族懇志金	21,060,000円（21,760,000円）		
特別懇志金	23,812,000円（23,537,000円）		
一般懇志金	964,666円（2,081,187円）		



御遠忌サイトを開設しました

<http://goenki750.hidagobo.jp/>



高山教区・高山別院 宗祖親鸞聖人御遠忌通信

—宗祖御遠忌法要教化・本堂等御修復工事 推進—

第10号 2018年10月25日 <発行> 高山教区・高山別院 宗祖御遠忌推進委員会



耐震構造を備えた本堂。本堂正面の耐震補強工事は、景観を配慮しH鋼材を格子状に組み上げ、表面に千鳥格子のイメージで木調化粧材が敷設されました。また、壁面には、中性化防止の塗装が施されました。

2015年度から取り組んでまいりました高山別院本堂等御修復工事が10月末をもって完了となり、19日午前10時、奥原建設株式会社から引き渡しを受けました。

工事は、2016年に実施された屋根銅板葺き替え工事の第一期工事。2017年末から着工された耐震補強工事を中心とする第二期工事として実施され、昭和38年、現在の本堂が完成して以来、最大規模の御修復工事となりました。

工事完了の慶びを有縁の皆さま方と共にし、飛驒真宗の中心道場として今後も護持されてまいりますことが願われます。

11月1日の御本尊還座式、そして別院報恩講と、皆さまの御参拝をお待ちいたしております。



奥原建設より輪番へ引き渡し。

ひだぎ坊
報恩講 11月1日(木)、2日(金)、3日(土)